

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室のスペースを有効活用できるように、活動内容や時間帯によって使う部屋をスケジュールで区切って使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準配置に加え、支援会議や日々の振り返りを基にその日の状況に応じて対応できるよう配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物の構造上難しい部分もあるが、トイレ・階段の手すりや簡易スロープ等も配備しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日朝礼にて前回の療育内容の振り返りを行い業務改善を進めている。また職員の面談を毎月行い目標設定と振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表や面談、送迎時で保護者様の意向を職員全体で把握し改善策を考え実施できるよう日々取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果をホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による評価は行っていません。外部評価に関しては今後の検討事項とする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			アセスメントを適切に行い保護者様やニーズの他、学校や相談員の方々のお話も参考に客観的に分析した上で作成している。月に1度は研修を行い資質の向上を行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談、アセスメントを行い子どもと保護者の課題・ニーズをふまえ、太田ステージなど取り入れながら計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			太田ステージの評価表を活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で話し合い活動プログラムを考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムが固定化しないように、反省点や改善点を話し合っている。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日に比べ休日・長期休暇では活動時間が長くなるため、活動時間に合わせて課題設定を行っている。また、平日に学習したことを実施できるように、休日・長期休暇では、買い物トレーニングなど買い物の流れやお金の支払い等体験し支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子ども1人ひとりに設定した個別課題と小集団での活動を毎回行っている。特に小集団活動では、コミュニケーション部分を考え計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼にて当日の役割や流れを確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			児童の様子や支援は適切であったかなど振り返りを行い、気付き、改善点など話し合いをし共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回、連絡帳の他に個別の支援記録をとり支援の検証・改善に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、個別の支援計画を見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイダンスの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている。
関係機関や保護者との	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの担当者を決めて参加するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校や保護者様と連絡をとり送迎の時間の確認や受け渡しがスムーズにできるように連絡調整をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			てんかん等起こり得る病気は事前に保護者様と情報を共有し、起きた時の病院への連絡等の対策をマニュアル化しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前に利用していた事業所に見学や聞き取りを行い、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在該当する利用者様はいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			機会があれば研修を受けたり、連携をとっている。

連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			現在新型コロナウイルス感染防止のため、交流は行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			可能な限り参加できるように努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳でのやりとりを基本面談や送迎時にも児童の発達の状況や課題について共有理解できるよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		家庭で困っていることがあれば、職員で情報共有をして対策を考え保護者様にアドバイスを行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			入所時に説明を行い、変更等あればその都度お知らせをしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時に学校での悩みについての対応など相談にのったり助言をしたりしている。また、悩みを相談するかもしれないなど、保護者様から事前に情報を頂き本人に対応できることとなる。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会は現在開催していない。保護者様からの要望があれば開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合は、速やかに職員間で周知し今後の対応策を検討し、利用者様や保護者様へご理解頂けるよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にInstagramやブログを通して、活動内容を配信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			写真撮影の有無など個々の条件によって対応している。個人情報の取り扱いについては保護者様に契約時に説明させて頂いた上、記名、押印して頂いている。重要書類は鍵付きのロッカーで保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童の発達段階に合わせた意思疎通ができるように配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在新型コロナウイルス感染防止のため、交流は行っていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			災害時、感染症対応等の各マニュアルを作成し、全職員に周知している。また、てんかん発作等の個々に対応が違うものについても対応マニュアルを作成し、いつでも確認できるように事業所や送迎車に置いている。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回実施している。また、担当者会議など学校や家庭、事業所の避難場所などお互い周知している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止のため定期的に研修を行い、利用者様に対して丁寧で適切な対応を心がけている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束は行っていない。やむを得ず一時的に身体拘束を行う事については、入所前に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギー一覧表を作成し誤飲・誤食を防ぐため印を付けたり、色を変える等工夫を行っている。また、児童のカードに色テープを貼り、全職員が確認できるようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成し、職員全体で振り返り、改善点があれば早急に行い、再発防止に役立っている。